

冬休みが始まりました。いかがお過ごしでしょうか。具合が悪かったお子様も、回復され元気に過ごしておられますか。私も先週末は体調を崩して休みをいただいていた。そのため、この通信の発行が遅くなってしまい、申し訳ありません。体調を崩して、健康の有難さを改めて感じました。寒さが厳しい季節ですが、健康に気を付けて過ごしていきたいものです。

さて、今月もいろいろな活動がありました。

まずは、人権旬間です。各学級で人権について考える学習に取り組みました。そして、最終日にはゆめタイムの人権部主催の「人権集会」を行いました。「全校が気持ちよく過ごすために、どうすればよいのか考えよう」をテーマで取組を行いました。「気持ちよく過ごすために」お互いに相手の気持ちを考えることが大切です。頭でわかっているけれども行動に移すことは難しい時がありますが、意識して過ごしていきたいと思います。

次に、国スポ大使 パラリンピックメダリストの宇田秀生選手に来ていただきました。宇田選手は、トライアスロンの選手です。3～4年生が体育館で講話を聞いたり、一緒に体を動かしたりしました。「笑顔」「好きなことを見つけること」「大きなことも小さなことと捉えることで緊張も小さくなること」等、大事にしておられることを教えていただきました。東京オリンピックで獲得された銀メダルも触らせていただき、貴重な体験となりました。

滋賀県教育員会が発行されている「教育しが」という広報誌があります。6年生の4名が「子ども記者」に応募し、本校の「ゆめタイム」についての取材を受けました。次回発行される「教育しが(子ども版)」に掲載される予定です。ぜひ、お楽しみにご覧ください。



後期前半も本校教育活動にご協力いただき、ありがとうございました。後期に入り、保護者の皆様と個別にお話をさせていただく機会がたくさんありました。子育てに悩みは尽きません。悩みは次々に出てくるけれど、子供たちと過ごす子育ての時間は楽しい時間であると思います。

先日読んでいた本に、「子供の周りにいる大人は、子供の主体的な学びのロールモデルとして振る舞う努力を忘れてはいけません。」と書かれていました。「子供たちは周りの大人の姿を見て学んでいます。優しく接する姿を見ると優しい行動を模倣し、攻撃的な態度を見ると攻撃的に行動を取りがちになります。私たち大人が子供に期待する習慣や姿勢を身をもって提示していくことが肝心です」と続けました。読んでいたうちに、背筋が伸びていきました。子供たちのロールモデルになることを心得、自分自身を振り返り、来年の目標をたてたいと考える年の瀬を迎えています。

皆様、本年もたいへんお世話になりました。4月からの附属小学校での出会いに感謝しています。どうぞ、良いお年をお迎えください。

(文責 齋藤 昌代)